

## 1. バイオマス賦存量の把握方法

### 1-1. バイオマスの賦存量に関する用語の定義

分類名		定義
バイオマス		①原料、燃料として利用できる生物活動によって生産された有機物の総称 ②エネルギーとして利用できるまとまった量の植物起源の物質
木質系バイオマス		森林から得られる木材とそれに付随して発生する林産廃棄物、製材残材、建築廃材、木材の加工品としての紙（古紙）、加工品残法としての黒液を含めたバイオマス資源
	林地残差	主伐、間伐、除伐に伴い発生する素材（丸太）以外の木質バイオマス。未木、枝条、その他残材に分けられる。伐採現場で発生する場合と、土場と呼ばれる作業場所で発生する場合がある。
	間伐材	間伐（林分の混み具合に応じて、目的とする樹種の個体密度を調整する作業）に伴い発生する素材（いわゆる丸太）部分。搬出される場合と切り捨てられる場合とがある。
	未利用材	本来利用するために植林または造林された樹木のうち、利用の見込みがなく放置されている樹木。旧薪炭林（里山林）にある広葉樹、放置された人工林にある針葉樹など。
	製材残材	製材業、木材加工業において発生する木質バイオマス。大きく分けるとチップ、背板、端材、おが粉、パークの5種類で、商品価値があるものもないものも含まれる。
	建設廃材	建築業、建設業、家屋解体業において発生する木質バイオマス。建設時に発生する建設時廃材（新琴廃材）と解体時に発生する解体時廃材（解体廃材）に分けられる。
	製紙系	
	古紙	古紙として得られるバイオマス
	黒液	クラフトパルプ生産時に木材中のリグニンが蒸解液中に溶出したもの
農業残差	稲わら	稲わら
	もみがら	もみがら
家畜糞尿・尿尿	家畜糞尿	畜産に伴って発生する家畜の糞尿
	尿尿浄化層汚泥	尿尿浄化槽の余剰汚泥
下水汚泥		下水処理場の活性汚泥法で発生する余剰汚泥ならびにこの含水率調整を行った物。凝集剤を含むこともある

食品廃棄物	食品加工廃棄物	食品加工業から排出される廃棄物。含水率が高いことが多いが、その組成は食品の種類によって大きく異なる
	食品販売廃棄物	食品を販売するときに発生する廃棄物。食品と同じ組成を持つことが多い
	家庭厨芥	家庭から発生する厨芥
	廃食用油	廃棄される食用油